

社会福祉 社会保障 は、いま ⑯

市民は観客から プレイヤーへ

本紙4ページにあるように福祉のまちづくりフォーラムを白川町社会福祉協議会と共催で、8月27日、白川町福祉センターにおいて開催しました。ここでは、フォーラムの中から、大阪府阪南市長・水野謙二さんとの報告を中心に感想を述べみたいと思います。

阪南市が福祉のまちづくりに取り組むことになりました。理由は何か。それは、市役所が2年前（2016年10月）、市内の幼稚園・保育園7施設を1か所に統合する子も館構想を打ちだし、それに反対する親たちが、住民自治を政策の柱にする水野市政を誕生させました。水野市長はトップダウンからボトムアップをめざし、「自分たちのまちは自分たちで守る・創る」という住民主導による公民協働のまちづくりを政策の中に入っています。その取

組みは縦割りから横のネットワークづくりへの転換で

した。小学校区を基盤に「ま

ちなかカフェ・サロン」、「子

育てサロン」、「認知症カ

フェ」等を次々と作ってい

くやり方です。活動の主体

は全世代です。「子ども福

祉委員活動」は、その担い

手が中学生であり、引きこ

もり・障害のある人など、

誰もが交流できる多世代共

生型のサロンの一つを担つ

ています。この共生型の地

域づくりを「阪南ほっこり

度良い田舎」をめざし、阪

南市の豊かな海、山、産業

と、文化を守る取り組みへ

と、まちづくりの転換を

図っています。

人材づくりをどう進める

か。小学生が「海を守り隊

活動」に入り、次の時代を

背負い始めています。地元

に人材を創り、つないでい

く取り組みも面白いと思いま

す。水野市長の報告から

ラムでした。

はどのように創り出されたのか。前市長時代に財政調整基金のかなりの額が取り崩されており、財政再建の行財政改革が待ったなしになつていました。そこで考えたのが「水野メソッド」です。水野メソッドとは、市民が市役所に「やつてもらう」という待ちのスタイルから、ともにつくる共創へ。縦割りから横の連携へ。市民は観客からプレイヤーへ。といった形で市連連

活動を進めています。このように寄り添い、支えあう活動を進めており、公民協働になつています。このような阪南スタイル

（社会福祉法人
サンシャイン福祉振興会理事長
聖隸クリリストファー大学
大学院教授）

大友信勝

雨やんでもホームの食卓に

意地張らず心豊に老いゆけば

薄日差し込む秋日和

利津子

秋桜活けて寿司屋の縄のれん

千枝

フラココやニュートン偲び下を見る

秀子

やす子

いね

長月の夜も十五夜よいとこさ

澄雄

文芸コロナリ



新人職員紹介



齋藤 千昭
サンシャイン美濃白川
サブワーカー

介護施設での仕事は初めてです。
先輩方に指導していただき、一日も早く役に立てるよう頑張ります。